

厚生労働省
経済産業省 同時発表

令和2年5月29日
総合政策局物流政策課
自動車局貨物課

洋紙・板紙サプライチェーンを持続可能とするために ～「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の 改善に向けたガイドライン 紙・パルプ(洋紙・板紙分野)物流編」を策定～

平成30年度に設置した「紙・パルプ(洋紙・板紙分野)の物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会」において検討した結果を踏まえて、「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン 紙・パルプ(洋紙・板紙分野)物流編」を策定しました。今後、物流への負荷が大きい不十分なリードタイムでの発注や少量多頻度納品といった商習慣を見直し、洋紙・板紙サプライチェーンが持続可能となるよう関係者の取組を促進してまいります。

1. ガイドライン策定の経緯

トラック運送業においては、ドライバー不足が大きな課題となっており、調査の結果、荷待ち件数が特に多かった輸送分野(加工食品、建設資材、紙・パルプの3分野)について、それぞれトラックドライバーの長時間労働の改善を図るために輸送品目ごとに懇談会を設置・開催し、検討を行ってきました。

今般、全5回の紙・パルプ(洋紙・板紙分野)の懇談会の検討の成果として、ガイドラインを策定しました。

製紙産業では印刷媒体の電子化等に伴って物量の減少が予想される中、物流の負荷が大きい不十分なリードタイムでの発注や少量多頻度納品といった商習慣を見直すことが喫緊の課題となっていることから、本ガイドラインを参考にサプライチェーンの関係者が物流効率化に着実に取り組み、洋紙・板紙サプライチェーンが持続可能となるよう促進していきます。

2. 内容紹介[紙・パルプ(洋紙・板紙分野)物流の課題の特徴と主な対応策]

【課題の特徴】

- ・ 書籍、雑誌等や段ボールに使用される紙は技術開発の要素が少なく、他社との商品による差別化が難しいことから、商品以外の部分(リードタイムや納品方法等)での競争が行われてきた結果として、不十分なリードタイムでの発注や少量多頻度納品といった商習慣が定着し、これが運送事業者やドライバーの負担増につながっている。

【主な対応策】

- ・ リードタイムの確保により、効率的な配車や積載率の向上など生産性向上に取り組む。
- ・ 物量の平準化や共同輸送の実施など少量多頻度納品を効率化する。等

<添付資料>

- ・ 概要資料

<ガイドライン及び懇談会の掲載HP>

- ・ http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk4_000038.html

【問い合わせ先】

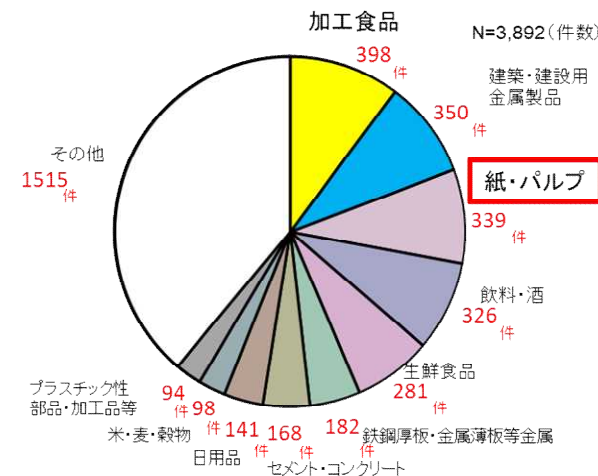
自動車局貨物課 鈴木、上中

TEL: 03-5253-8111(内線 41313) 直通: 03-5253-8575 FAX: 03-5253-1637

1. ガイドライン策定の経緯

- トラック運送業においては、ドライバー不足が大きな課題となっており、トラック運送事業者、発着荷主等の関係者が連携して、取引慣行上の課題も含めてサプライチェーン全体で解決を図っていくことが必要。
- 一方、個々の輸送品目ごとに抱える課題や特性に違いがあるところであり、輸送品目別に検討を行うことが効果的。
- このため、荷待ち件数が特に多い紙・パルプ分野について、課題の抽出を図るとともに、トラック運送事業者及び発着荷主が参画して長時間労働の改善を図るため懇談会を設置。懇談会の検討の成果としてガイドラインを策定

30分以上の荷待ち時間が生じた件数(輸送品目別)



2. ガイドラインの構成

【まえがき】

- ガイドライン策定の経緯とトラック運送事業の現状
 - 今後のトラック運送事業の見通し、
 - トラック運送事業を取り巻く制度面の変遷、
 - トラック運送事業の健全な発展に向けて

【本編】

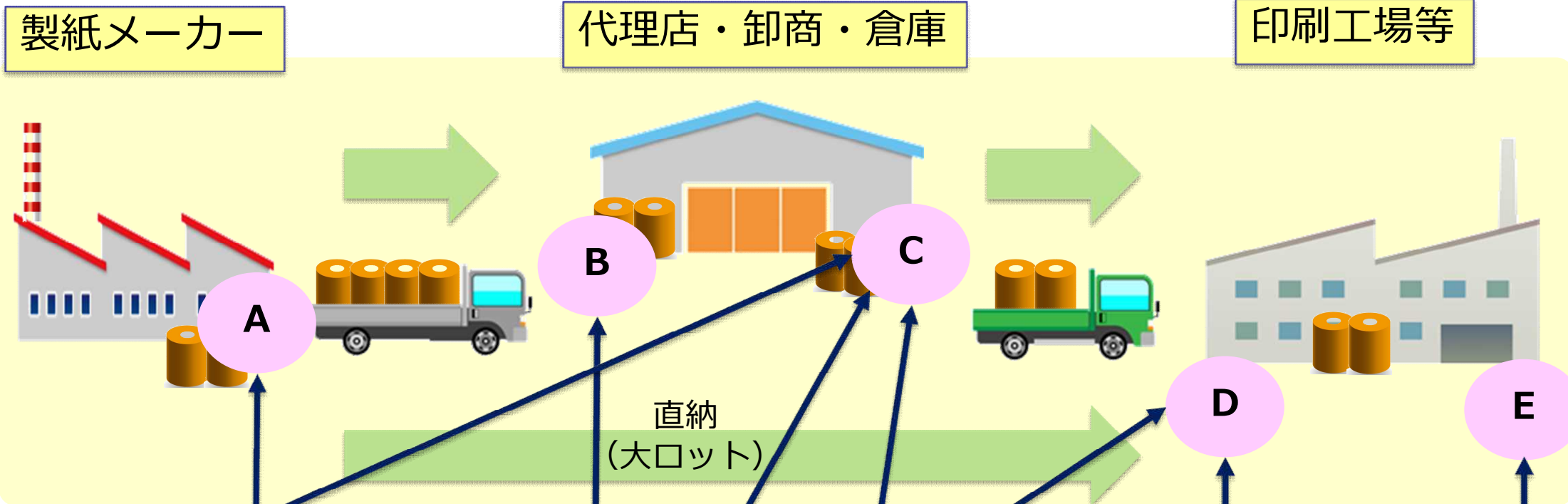
- 紙・パルプ(洋紙・板紙分野)物流における現状・課題、解決の方向性の整理
- 取引環境と長時間労働の改善に向けた具体的な取組み事例等

【あとがき】

- 紙・パルプ(洋紙・板紙分野)物流における今後の取組みの方向性
- おわりに(サプライチェーン関係者へのメッセージ)



紙・パルプ(洋紙・板紙分野)物流の課題の発生個所



発生個所 A・C
 【代理店・卸商出荷時】
 ・発注期限が守られない一方、納品時間指定が厳しい
 ⇒ **課題 1**
【リードタイムの確保】

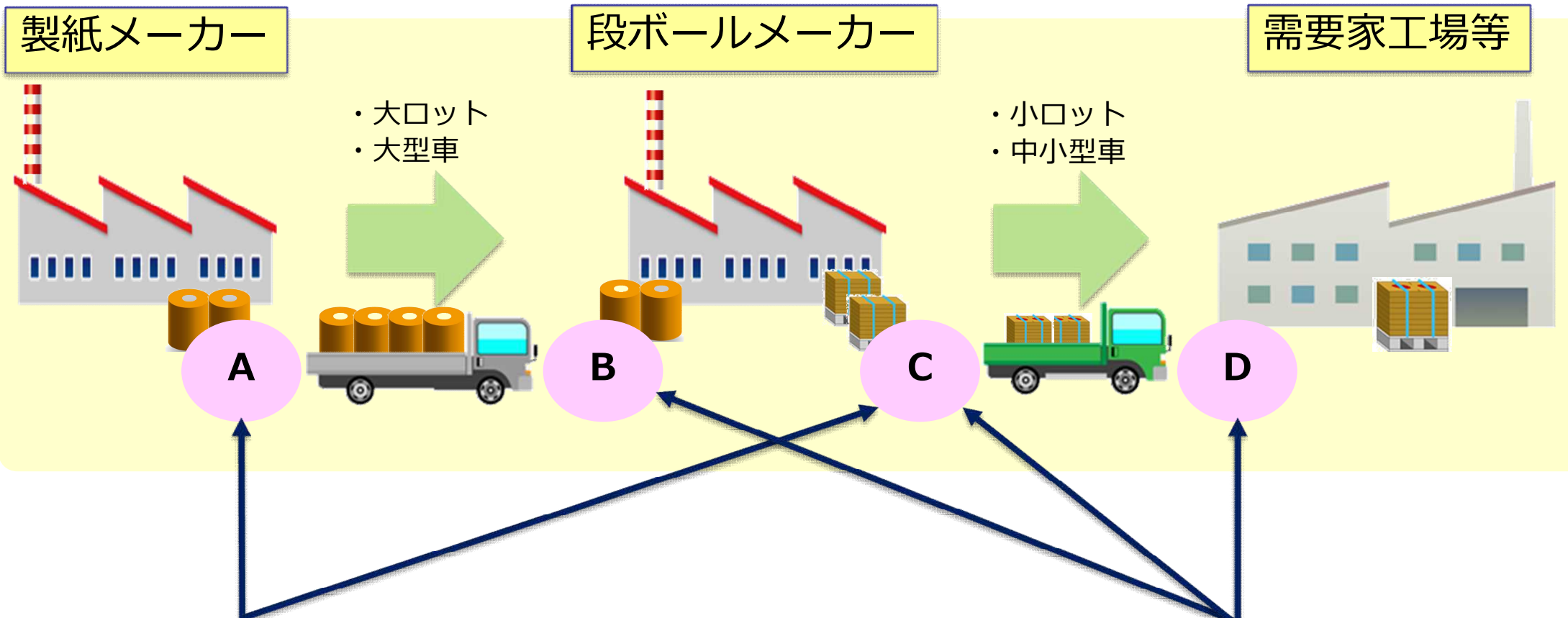
発生個所 B・C・D
 【代理店等・印刷工場等荷卸し時】
 ・車両集中による出荷・荷卸し待ち時間の発生
 ⇒ **課題 3** **【荷待ち時間の削減】**

発生個所 C
 【代理店・卸商出荷時】
 ・小ロットによる配送効率の低下
 ⇒ **課題 2**
【少量多頻度納品の効率化】

発生個所 D
 【印刷工場等荷卸し時】
 ・契約外の荷卸し作業等が発生
 ⇒ **課題 4**
【附带作業の軽減】

発生個所 E 【印刷工場等出荷時】
 ・特定の日・曜日に物量が集中
 ⇒ **課題 5** **【繁忙差の平準化】**

紙・パルプ(段ボール分野)物流の課題の発生個所



発生個所 A・C 【各所出荷時】

- ・発注期限が守られない一方、納品時間指定が厳しい
- ・小ロットによる配送効率の低下

⇒ **課題6 【リードタイムの確保及び少量多頻度納品の効率化】**

発生個所 B・C・D 【各所出荷・荷卸し時】

- ・車両集中による出荷・荷卸し待ち時間の発生

⇒ **課題3 【荷待ち時間の削減】**

- ・契約外の荷卸し作業などが発生

⇒ **課題4 【附带作業の軽減】**

【洋紙・板紙物流における課題の特徴】

書籍、雑誌等や段ボールに使用される紙は技術開発の要素が少なく、他社との商品による差別化が難しいことから、商品以外の部分（リードタイムや納品方法等）での競争が行われてきた結果として、不十分なリードタイムでの発注や少量多頻度納品といった商習慣が定着し、これが運送事業者やドライバーの負担増につながっている。

主な対応策

◆ 課題1【リードタイムの確保】

→ 発着荷主の受発注プロセスを共有化するなど、関係者間で十分協議することが重要。また、受発注締切期限を厳格に運用する。

◆ 課題2【少量多頻度納品の効率化】

→ 物量の平準化、共同輸送の実施、納品場所、納品回数等の集約などで効率化を図っていく。

◆ 課題3【荷待ち時間の削減】

→ **予約受付システム**の運用など、車両集中の分散化手法を実施する。

◆ 課題4【附帯作業の軽減】

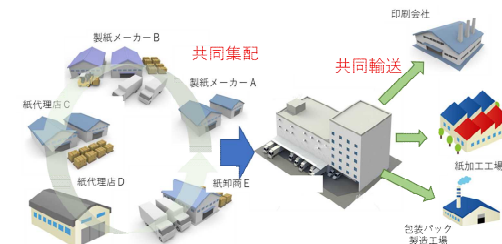
→ 発着荷主は契約書面に納品時の附帯作業の内容や実施者等について明記する。**パレット納品**を可能とするため、導入課題を協議する。

◆ 課題5【繁閑差の平準化】

→ 平準化が**関係者全体のメリットにつながる**と認識し、週単位、日単位など波動の分散化を関係者で協議する。

◆ 課題6【リードタイムの確保及び少量多頻度納品の効率化】

→ **十分なリードタイム**のもと、**発注者の製造計画を共有**し納品計画を事前に調整するなど効率化を図る。



今後の取組の方向性

- サプライチェーンにおける物流コストの適正な負担 ⇒ **物量が減少していく**と予想される中、関係者間で**適正な負担を協議**すべき
- 共同保管及び共同配送の実現に向けて ⇒ サプライチェーン全体の効率化を考慮した**メーカー共同倉庫の設置**等を検討
- 十分なリードタイムの確保の必要性 ⇒ 洋紙・板紙の**需要家のサプライチェーン(出版・広告等)**とも**協力関係を構築**していく必要
- 附帯作業の軽減 ⇒ 役割分担の明確による取引条件等の見直しとともに、危険が伴う作業(俵二段積み等)については機械化を促進
- 物量の平準化 ⇒ サプライチェーン全体で平準化を図るため、物量が多く特定の日に集中する**雑誌の発売日の分散化**等を実現
- 段ボール分野の方向性 ⇒ ①少量多頻度輸送及びリードタイムの改善、②薄型段ボールへの転換、③ユニットロードの標準化を注力